


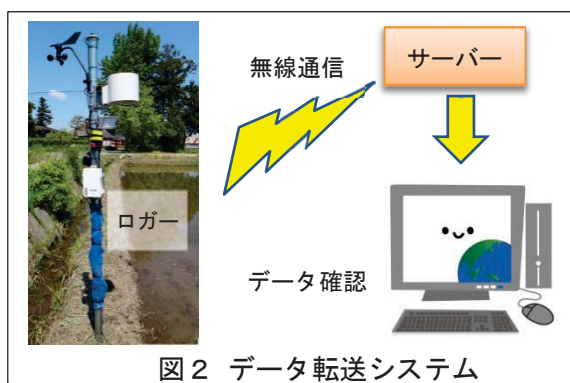
農学部研究シーズ2014

所属・職・氏名	共生環境課程・講師・武藤 由子	
紹介する研究シーズ名	土壌センサーを使った圃場管理	
キーワード	水分量、塩分濃度、灌漑、施肥、モニタリング	

シーズの「売り」は！！

**土壌センサーとデータ転送システムを使って、
圃場の水管理・施肥管理にかかる労力を軽減します。**

「圃場の水分量や肥料効果をどう管理するか？」これは作物の生育に直結する課題です。土壌センサー（図1）とデータ転送システム（図2）が、灌漑や施肥のタイミングの見極めを補助し、大区画圃場の管理にかかる労力を軽減します。また、排水不良や土壌浸食などの問題に対応するための情報も得られます。当研究室では、室内実験を行いセンサーの利用条件と実用性を調べ、簡単な利用法を提案しました。今後は、圃場での有用性を色々な作物に対して確認していきたいと考えています。



【研究シーズの応用例・活用分野・展望】

大区画圃場、環境緑化、生態系保全 など

関連特許・関連資料等

武藤由子, 5TE センサーで土壌水分量と電気伝導率を推定するための簡易的利用法, 2014 年度土壤物理学会大会 講演要旨集(印刷中)